
偉人たちの共鳴 第一夜

美希マコト

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

偉人たちの共鳴 第一夜

【Nコード】

N7497S

【作者名】

美希マコト

【あらすじ】

世界に散らばる、様々な偉業を成し遂げた偉人達を追った架空のドキュメンタリー番組風短編小説。（5分番組）

『偉人たちの共鳴 第一夜』

今宵の偉人は、人類史上初めて先生の事を”お母さん”と呼んだ、
「マニエル・アンダーソン」君（当時8歳）。

以下ドキュメンタリー風（日本語訳）

ああ、そうだね。あの時はとても驚いたよ。

頭の中では「先生」と呼んだつもりが、自分の口から出た言葉が
「お母さん」だったんだ。

思わず頭を抱えてしまったよ。

Q・周囲の反応は？

ん〜、そうだねえ ちよつと昔の事だったから忘れちゃったけど、
みんなにちゃかされたのは覚えているよ。

「おい！マニ（あだ名）が先生のことマミーって呼んだぜ！
マニがマミーだってさH A H A H A！」ってね。

Q・やっぱり恥ずかしかったですか？

凄く恥ずかしかったです。顔から火を噴きそうだったね。
それ以来僕は先生の事を頻繁に頼らなくなりましたしね（笑）

Q・最後に、日本のファンに一言

そうだね……当時は恥ずかしかったはずの事だけど、今では笑い話になってるんだ。

当時の友達なんかと会うと、この話だけは覚えててくれてたりして盛り上がったね。

だからこの間違いを犯してしまった全ての人へ……胸を張っていいんだ。

Q・もう一度……日本のファンに一言お願いします。

これは、失礼。日本のファンに一言だったね(笑)

「ニッポンのミナサン コンニチワ My name is Manue Undersn ah……ガンバツテクダサイ Thank you r.

来週の「偉人たちの共鳴」は、人類史上初めて”エアダスター”と”スプレーのり”を間違えて使った「トニー・ミシエル」さん(当時21歳)です。お楽しみに。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7497s/>

偉人たちの共鳴 第一夜

2011年10月8日23時34分発行